

## 地方創生交付金活用事業

### コミュニティバス購入事業について

まちづくり政策課

#### 1 趣旨

中津市では、民間の路線バスが撤退した中山間部において、小規模集落などにおける移動手段確保を目的としてコミュニティバスを運行しています。

特に、山国地域は、平成16年4月から当時の山国町が事業主体となり、運転のみを民間事業者へ委託しており、公共交通定着率が高い地域です。山国地域の高齢化率は46.9%(10月1日時点)と市内でもっとも高齢化率が高く、車を運転できない移動手段に制約のある高齢者等が、病院や商店、娯楽施設にアクセスでき、日常生活に支障をきたさない生活水準を維持するために、公共交通は必要不可欠なものとなっています。

今回、槻木地区や守実地区を運行中の車両が老朽化したことにより、地方創生交付金を活用して、マイクロバス車両1台を更新する経費を補正予算として提案しています。

なお、利用する方の大半が高齢者であることから、電動格納式ステップを追加装備することとしており、これにより高齢者の方に乗降をより安全にさせていただくことができます。

#### 2 整備内容

購入車両：26人乗りマイクロバス1台

導入路線：槻木線、月曜日・水曜日の週2回、1日2往復運行

対象地区：槻木地区、守実地区

#### 3 予算内容と財源

財源として地方創生先行型交付金(5,000千円)を活用します。

事業費	財源			
	国・県支出金	市債	その他	一般財源
7,192	5,000	0	0	2,192



現在運行中の槻木線マイクロバス